

目標達成計画

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	終末期介護については前回より続いている課題であるが、職員の知識も乏しく、皆不安を掲げている所である。又、協力医療機関であるk病院は往診体制は困難との回答が出された。	職員全員が終末期介護について共有の知識を持ち、医療機関との連携が取れる。	夜勤体制について話し合う。 研修会への参加。 勉強会等で知識を共有する。 実行している施設等の見学。	6ヶ月
2	35	地元の職員が少ないので、夜間は困難を要す。又、地域との協力体制が整っていない。	連絡方法を再確認し、災害時の避難場所・マニュアルの作成を再検討する。	災害を想定した避難訓練を行う。 家族・地域・職員間の連絡網の作成。 理解可能な利用者には普段より教育する。	6ヶ月
3	4	会議では事業所の運営や利用者の状況を報告し、情報交換を行っているが、参加者からの意見・要望を引き出せず、双方向的な会議には至っていない。	会議内容の記録整備に努め、議事録の掲示や家族への配布・公表に努める。	会議内容を検討し、活発な意見交換の場となるよう工夫する。 会議内容の記録整備に努める。 議事録の掲示や家族への配布等、公表する。	1ヶ月
4	26	日々の介護記録が時系列の記録に止まっており、介護計画に連動した記録には至っていない。	ケアプランが活かされた介護記録を作製し、ケアサービスの質の向上に結びつける。	介護計画に連動した記録について勉強会をし、話し合い、意見交換をする。 初めのうちは時間を要するので、2~3例程度で開始する。	6ヶ月
5	35	非常用の備蓄品が検討されていなかった。	3日分の非常用備蓄品の確保。	食料(水・缶詰等) 防寒用品 排泄用品(簡易トイレ・オムツ)	1ヶ月

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。